

経済新聞

土曜版

NIKKEI
2023年 10月21日

所得減税遠のく財政再建

首相指示、「定額」を検討

岸田文雄首相は20日、税収増を国民に還元する方策を検討するよう与党の幹部に指示した。期限つきの所得税減税を政府の物価高対策に盛り込む。政府・与党は年収に関係なく同じ額を所得税から差し引く「定額減税」を検討する。ガソリンや電気への補助金などに加えてバラマキ政策が続ければ財政再建も遠のく。

(関連記事4面に)

自民税調会長「1年が常識」

首相は同日、首相官邸で記者団に「所得税減税」も含め、党における検討を指示したと明かした。26日に政府与党政策懇談会を開くとも表明した。自民党の萩生田光一、公明党の高木陽介両税調会長と相次ぎ面会した。自民党の宮沢洋一税調会長は面会後、記者団に所得税減税の期間について「1年が極めて常識的だろう」と語った。

税額から一定割合を差

し引く「定額減税」は「高額所得者に有利になる制度で、なかなか難しいだろう」と指摘した。定額減税は「みなさん均等に減税の効果がある」と強調した。

萩生田氏は「恒久減税ではない。本格的な賃上げにつなぐまでのあいだ、近年の税収増を国民にお返しするというのが大きな目的だ」と記者団に説明した。所得税を納めていない低所得者向けに給付金が必要との認識を示した。

政府・与党の検討内容のポイント

- 所得税減税を含めて国民への税収増の還元策を検討。経済対策に反映
- 恒久減税ではなく本格的な賃上げまでの措置と位置づけ。自民・宮沢税調会長「1年が常識」
- 一律で一定額を差し引く「定額減税」を検討
- 低所得者向けの給付などと一体で調整
- 防衛費増額に絡む増税を2024年は実施しない

11月初旬ごろにまとめた経済対策で物価高騰への対応を柱に据える。ガ

11月初旬ごろにまとめた経済対策で物価高騰への対応を柱に据える。ガ

ソリン代や電気・ガス料金の補助の延長に加えて、家計を直接支援する

不透明だ。
経済対策は供給力強化も柱にする。半導体や蓄電池などの投資・生産コストの負担を軽減する税制優遇や賃上げ促進税制も検討する。

成長力を底上げする政

策が効果を発揮するには時間がかかる。足元で賃

金上昇が物価高に追いつ

かず、実質賃金はマイナ

スが続く。内閣支持率が

低下する一因にもなって

いる。所得減税や給付金

を掲げる理由は政治的な

意味が大きい。

野村総合研究所の木内

登英エグゼクティブ・エ

コノミストは仮に时限措

置として5兆円の所得減

税を講じたと想定し、実

0・12%と試算する。

「景気浮揚の効果は限

定的。物価高対策として

位置づけるなら検討中の

エネルギー関連の補助金

を低所得者向け給付と重複する」と指摘する。

「税

收の上振れば財政赤字の削減や経済の潜在力を高める政策に回すべきだ」と主張する。

野村万作氏ら
文化勲章7人

政府は20日、2023年度の文化勲章(3面き

野村万作氏(92)、経済学の岩井克人氏(76)ら7人

文化功労者には漫画の里中満智子氏(75)、現代美術の横尾忠則氏(87)ら20人を選んだ。文化勲章の親授式は11月3日に皇

室で行われる。

野村万作氏は「文化の

発展に貢献したこと

を評価する」と述べた。

経済学の岩井克人氏は「

文化の発展に貢献した

人物を評価する」と述べた。

文化功労者には漫画の里中満智子氏(75)、現代美術の横尾忠則氏(87)ら20人を選んだ。文化勲章の親授式は11月3日に皇室で行われる。

野村万作氏は「文化の

発展に貢献したこと

を評価する」と述べた。

経済学の岩井克人氏は「

文化の発展に貢献した

人物を評価する」と述べた。